

2023年度 入学式 理事長挨拶

初めにご多用にも拘わらず、また、まだまだコロナ感染の影響下にあります本日、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には、心より御礼申し上げます。また、壇上からでは御座いますが保護者の皆様には、お嬢様のご入学心からお祝い申し上げたいと存じます。

温暖化の影響でしょうか、年々春の到来を早く感じております。東京では既に桜の満開が過ぎ、次なる春の花が咲き始めたております。皆様を迎えるに相応しい良い日となりました。

改めて、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学園を代表いたしまして一言お祝いの言葉を述べたいと存じます。皆さんの高校3年間はコロナ禍の真っ只中にあり、学習やスポーツ活動に若いエネルギーを爆発させる大切な時期でありましたが、新型コロナウイルス感染の為に満足な活動が出来ず、やるせない3年間であった事と推察致します。大学進学についても入試制度の問題や地元を離れるか否かでの判断にも逡巡したに違いありません。過去の話になりますが、大学からは地元を離れ都会に出て最前線の学習と見聞を広めようと思ったものですが、今は交通の利便性も良くなり都会の大学への進学は必須の選択肢とはなくなりました。そのような中で、本学への入学を決められましたこと、喜ばしく心から歓迎を申し上げます。

さて、入学に際しまして、本学園を少しご紹介したいと思います。本学園は、大学・大学院をはじめ2つの高校、2つの幼稚園と附属の保育園を擁する学校法人二階堂学園であります。本学園は1922年に二階堂トクヨ先生により創立された二階堂体操塾に始まり、昨年100年目を迎えました。そして皆さんが入学したのは長い歴史と伝統のある日本女子体育大学です。創立者二階堂トクヨ先生は大正元年にイギリスにあるオスターバーグ・フィジカルトレーニング・カレッジに2年間留学をし、そこで学んだ体育・スポーツ・ダンスを通し、体育指導者の養成に取り組み、全人教育を教育理念として優秀な女子体育教師を教育界に輩出することを目的としてきました。また、英国で培われた国際的視野のもと、女性を心身ともに健全で独立した人格を持った人間として、養成することも考えておりました。最近ではジェンダー問題が話題になっておりますが、この時代で既に女性を一人の人格者として考えていた訳ですから、大変進歩的だったと言えます。

本学園は早い時期に幼児教育から教員養成としての大学教育までを進めてきました。これまで卒業生の多くは幼稚園教諭をはじめ、保健体育教師として活躍してきました。中にはオリンピック選手として活躍した方も沢山おります。競技種目としては水泳、フェンシング、陸上競技、体操競技、新体操、サッカー、バドミントンなど様々ですが、中でも大学の前身である二階堂体操塾3期生の人見絹枝女史は、1928年のアムステルダム・オリンピックで800メートル銀メダルに輝き、日本人初の女性メダリストになりました。また、人見絹枝に刺激を受け、体育専門学校時代、ロサンゼルス・オリンピックに出場した水泳の菅谷初穂さんが居ります。のちに日本女子水泳のパイオニアと言われ数々の表彰を受け96歳で亡くなるまで水泳に楽しみながらの人生であったと伺っております。若い世代のオリンピックでは女子サッカーのワールドカップの優勝に輝いた岩清水梓選手が居ります。本学は教員のみならずスポーツ界全般に優秀な卒業生を送り出してきました。

今日のオリンピックは大学の学業との両立の難しさから、実業団での活躍が目立つ時代になりました。しかし、先輩たちのように努力次第ではユニバーシアード、世界選手権、オリンピックの道も無くはありません。みなさん次第です。学園はそうした学生を大いに応援致しますので是非頑張ってください。

また、学園は学生の学ぶ環境整備に力を入れており、周年行事ごとに施設を用意してまいりました。80周年には機能的な図書館、90周年にはプール、アリーナ、多目的室などを組み入れた総合体育館を建設致しました。この度の100周年には地下2階地上7階に、体育館をはじめ研究室、トレーニング室、柔剣道場、700席のホール、さらには学生がくつろげるスチューデント・コモンズ等も用意いたしました。完成は9月頃の見込みであります。入学後は新しい施設で大いに研鑽に励んで頂き、目標に向かって邁進してください。

入学したからには様々な困難に出会うかと思いますが、最後まで諦めず、無事に卒業できるよう精進してください。我々教職一同は皆さんを心から歓迎し、皆さんの活躍を期待しております。

結びに当たりまして、保護者の皆様にはどうか無事に卒業の日を迎えられるよう互いに協力して学生達を支えて参りましょう。本日は誠にありがとうございました。

2023年4月3日

学校法人二階堂学園
理事長 石崎 朔子